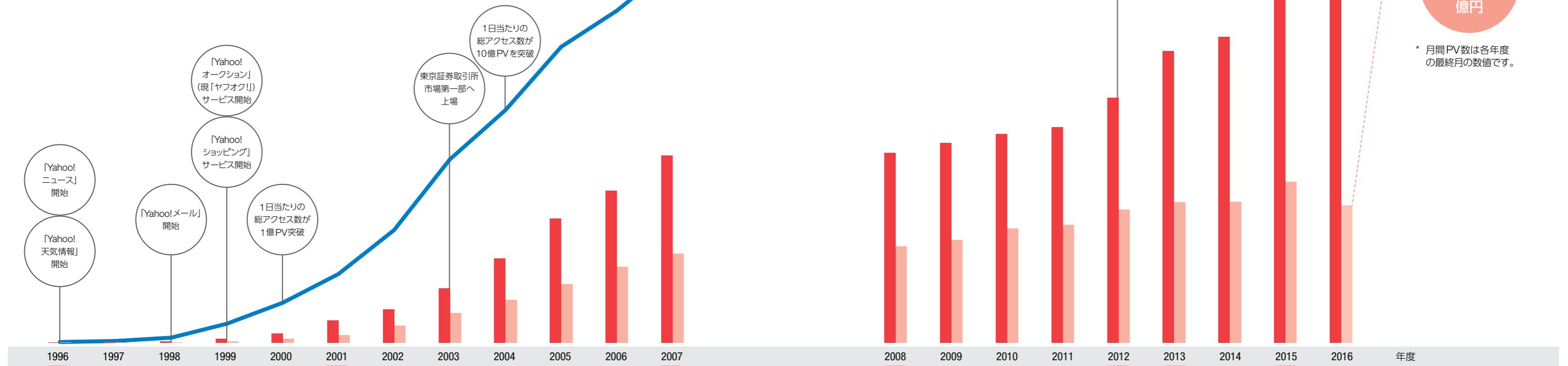


# 成長ストーリー

## 国内インターネットサービスの最先端を走り続ける

当社グループは1996年の設立当初より、安全で便利なインターネットサービスを利用者に提供することを主眼に事業を運営してきました。当社グループのサービスの発展が、日本国内のインターネットの普及を導いてきたと言っても過言ではありません。今後も情報技術で人々や社会の課題を解決する「課題解決エンジン」であり続けるという基本理念のもと、インターネットの利便性、公共性、社会性、将来性を認識して、利用者の求めるサービスを提供し続けていきます。



月間PV数\*  
**71,247**  
百万PV

売上高  
**8,537**  
億円

営業利益  
**1,920**  
億円

\* 月間PV数は各年度の最終月の数値です。

<p><b>1996</b> Apr.</p> <p>サービス開始</p> <p>国内初の商用検索サイト「Yahoo! JAPAN」のサービスを開始。日本語のWebサイトを集めたデータベースを提供し、ツリー構造のジャンルから探すディレクトリ検索、フリーワードから探すキーワード検索を提供。</p>	<p><b>2001</b> Sep.</p> <p>Yahoo! BB サービス開始</p> <p>月額2,280円からの高速インターネット接続サービス「Yahoo! BB」の商用サービスを開始。日本に常時接続サービスを普及させ、人々のインターネットの利用形態に大幅な変化をもたらす契機となった。</p>	<p><b>2008</b> Jan.</p> <p>PC版トップページリニューアル</p> <p>1996年のサービス開始以来、初の全面リニューアルを実施。「ソーシャルメディア化」「Everywhere化」「生活情報情報の充実」「オープン化」をテーマに、パーソナル枠、エンターテインメント情報の枠を追加。</p>	<p><b>2008</b> Jul.</p> <p>iPhone最適化サービス提供開始</p> <p>iPhone 3Gの日本上陸、ソフトバンクの独占販売開始に伴い、Yahoo! JAPAN全サービスのiPhone対応を実施。65サービスのトップページ画面についてUIをスマートフォンに最適化し、ホーム画面のアイコンを作成。</p>	<p><b>2012</b> Apr.</p> <p>新執行体制への移行</p> <p>スマートフォンの急激な利用拡大など、インターネット利用環境の急速な変化に対応するため、1996年以来継続してきた経営体制を刷新。経営陣の若返りを図るとともに新たな執行体制を導入。</p>	<p><b>2013</b> Oct.</p> <p>eコマース新戦略発表</p> <p>「Yahoo! ショッピング」のストア出店と売上ロイヤルティを完全無料化し、手数料モデルから広告収入モデルへの転換を発表。「ヤフオク!」でもストア出店料を同じく無料化することを決定。</p>	<p><b>2015</b> May</p> <p>スマートフォン版トップページリニューアル</p> <p>スマートフォン版トップページを全面的に刷新し、タイムライン型のデザインを採用。縦のスクロールで利用者が取得できる情報量を増やすと同時に、新たな広告メニュー「インフィード型広告」の提供を開始。</p>	<p><b>2015</b> Jun.</p> <p>監査等委員会設置会社へ移行</p> <p>コーポレートガバナンス・コードの適用を受け、迅速な経営判断とガバナンスの強化を両立すべく会社機構を変更。独立社外取締役の選任による透明性・公正性の確保、および経営と執行の分離による経営体制強化を図る。</p>
--	---	---	---	---	--	---	--

1994 米Yahoo誕生	1999 iモードがサービス開始	2003 Skypeがサービス開始	2008 AppleがApp Store開始	2010 タブレット端末Apple iPadが発売	2015 腕時計型ウェアラブル端末Apple Watchが発売
1995 Microsoft Windows95、Internet Explorer登場	2000 Googleが日本語検索サービス開始	2004 mixiがサービス開始	Android Market (現Google Play) 開始	2011 LINEが日本でサービス開始	
	Amazonが日本でサービス開始	2006 ニコニコ動画がサービス開始	Facebookが日本語版公開		
	2001 Wikipedia日本語版公開	2007 YouTubeが日本語版公開	Twitterが日本語版公開		